

算数オンライン塾 5月4日の問題 解説

(1) ある数を【1】とすると【1】+7が19の倍数であり、【1】+19が7の倍数になります。

そこで【1】+7を19、38、57、76と並べていき【1】+19が7の倍数になる場合を考えると以下の表のようになります。

	1	2	3	4	5	6
【1】	12	31	50	69	88	107
【1】+7	19	38	57	76	95	114
【1】+19	31	50	69	88	107	126
(【1】+19)/7	4.428571	7.142857	9.857143	12.57143	15.28571	18

	7	8	9	10	11	12	13
【1】	126	145	164	183	202	221	240
【1】+7	133	152	171	190	209	228	247
【1】+19	145	164	183	202	221	240	259
(【1】+19)/7	20.71429	23.42857	26.14286	28.85714	31.57143	34.28571	37

したがって答えは 107

(答え) 107

(2) 次は240ですから、19と7の最小公倍数である133と107の和であることがわかります。

$(2000-107) \div 133 = 14 \cdots 31$ より 15 個あります。

(答え) 15